

Ⅲ 平成29年度 学校経営計画

東京都立羽村特別支援学校長 坂口昇平

1. 目指す学校

キャリア教育を推進し、生きる力を育てる学校

児童・生徒が、自己の価値についての意識を十分に発達させることを基盤として、地域社会の一員として生きる力を育み、社会参加と自立を支援する学校を目指します。

(教育目標)

- 丈夫な身体と豊かな心を育てる。
- 自分で考え、行動する力を育てる。
- 社会で自立していく力を育てるとともに、働く力を育てる。

2. 中期的目標と方策

児童・生徒の自立・社会参加への意欲をはぐくみ、自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う主体的な学びを支援するとともに、通学区域内の特別支援教育を推進し、地域社会に共生社会の理念を広げるために、以下の方策に取り組む。

- (1) 児童・生徒の人権を尊重した教育を推進し、体罰を根絶するとともに、いじめの防止・早期発見に努め、安全・安心な教育環境を確保する。
- (2) 児童・生徒の多様な障害の特性や発達段階について専門性を備え、保護者と連携して児童・生徒一人一人のもてる能力や可能性を最大限伸ばす学習指導、自立・社会参加を目指した生活指導、進路指導を行う。
- (3) 福祉・保健所・医療等と連携し、保護者の協力のもと、児童・生徒の健康・衛生の保持・増進を目指す。
- (4) 特別支援教育のセンター校として、地域行政と連携をしながら地域の障害のある子どもや保護者、保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校の支援を行う。
- (5) 役割・責任を明確にした組織的な学校経営を進める。

3. 今年度の取り組み目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

児童・生徒の自己の価値意識を高められるよう、人権尊重教育を基に、教師が障害の状態等の理解を深め、教育ニーズを的確に把握し、スモールステップなどの見通しをもった指導を実施するために、以下の方策に取り組む。

実態把握・指導計画作成・実施・評価・改善の基本業務手順の充実、専門性向上のための各種研修の実施、授業等研究の奨励、指導教諭・言語聴覚士等外部専門家の計画的活用、教材ライブラリの構築・活用、外部専門家と連携した ICT 機器活用による授業改善、オリンピック・パラリンピックの意義や諸外国の文化の学習とスポーツを愛好する

態度の育成。

イ 生活指導

社会的規範を理解し、自分を律する力や安全を守る力を備え、良好な人間関係を築き、広げていける児童・生徒を育成するために、以下の方策に取り組む

心理士等の外部専門家と連携した生徒指導・相談の充実、学習・生活指導と連動する支援会議・発達相談の実施、ヒヤリハット事例の収集・分析、いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止・早期発見対応、警察・消防等と連携した大規模災害想定防災訓練・安全指導の実施と保護者への周知の充実（学校だよりの活用）、警察等地域関係機関と連携した健全育成、一人通学指導を推進、社会貢献活動モデル事業の実施、学校職員全員が社会人としてのモデルとなり、あいさつ・言語環境・身なりなど職場としての環境を整える。

ウ 進路指導

共生社会の一員として必要な知識・態度を身に付け、将来に夢をもてる児童・生徒を育成し、希望する進路を実現するために、以下の方策に取り組む。

キャリア教育に関する指導の充実、作業所等福祉関係機関・企業（特例子会社等）等と連携した実習やインターンシップ・販売活動、都の組織や関係機関と連携した新規実習・就労先の確保、対象生徒の企業就労の達成、卒業後の職場定着支援、保護者に向けた進路に関する情報提供の充実。

エ 特別活動・部活動及びスポーツ振興

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。表現活動の充実を図り、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うため、以下の方策に取り組む。

学校行事の精選と学級活動（小中）・ホームルーム活動（高）及び各行事の充実、地域人材活用による部活動の充実、環境整備・校内美化点検と表彰、地域貢献活動の実施、各団体と連携をしたスポーツ及び文化的活動の機会の拡充とその活動への貢献。

オ 体づくり・食育・健康教育

規則正しく、健全で健康的な生活ができる児童・生徒を育成する観点から、以下の方策に取り組む。

東京都統一体力テストを活用した個人目標の設定、学校栄養職員や養護教諭による食育・健康指導、関係機関と連携した歯科保健指導、学校保健委員会による健康教育の改善・充実、精神科相談の実施。

カ 特別支援教育のセンター的機能

地域の特別支援教育の地域の障害のある子どもや保護者、保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校の支援のため、以下の方策に取り組む。

就学前幼児向け特別支援学校体験会の実施、通学区域内の特別支援学級等への授業巡回等による相談・支援、各市町教育委員会と連携した理解啓発研修会の実施、副籍事業推進支援。

キ 学校経営・組織体制

保護者や地域に信頼される学校を目指して、厳正な教職員の服務により、適正な教育

課程の編成・実施・評価と、施設・環境の整備や計画的な自律経営推進予算の編成・執行など公正かつ効率的な学校経営を行うため、以下の方策に取り組む。

学校運営連絡協議会による学校評価に基づく運営改善、体罰禁止にかかわる職員の意識向上のための研修の実施、教育内容の精選による私費負担の縮減と適正な会計処理の推進、各主任による年間計画に基づく進行管理の徹底とリーダーシップの発揮、円滑な業務遂行・引継ぎのための正・副担当体制の構築、若手教員の研修指導の組織的な実施、指導教諭による自校・他校への指導助言体制の維持、職員室での個人情報に係る起案文書全て電子決済とし紙の場合は手渡しで確認票に記入、主幹教諭は稟議の文書をすべて記録し個人情報保管庫の管理を行う、産業医や安全衛生委員会及び相談センターを活用して教職員の心身にわたる健康維持促進。

(2) 重点項目と方策

ア 学習指導

研究授業の実施 150回以上

特別支援教育免許保有率 80%以上

教材展示会の実施 4回以上

教材制作研修会の実施 4回以上

外部専門家の活用 1500時間以上

作業学習の地域販売 3回以上

オリパラ教育 各学部35時間実施

中学部ボッチャ大会の実施 6時間

イ 生活指導

管理内における児童・生徒の事故報告件数 20件以下

宿泊防災訓練の実施 1泊20名以上の参加

外部救急法講習会上級者以上受講 5名以上

ウ 進路指導

企業就労希望者就労内定率 90%以上

高等部卒業生全体の企業就労率 30%以上

企業等関係機関向け校内見学会の実施 2回以上

進路先見学実施（保護者、教員向け） 10回以上

進路先見学実施（生徒向け） 高等部各学年1回以上

進路研修実施 小中高各学部1回施

進路だより発行数 5回以上

エ 特別活動・部活動

各団体大会等への参加 5回以上

社会貢献活動への参加 2回以上

オ 衛生、健康、体力づくり

歯科衛生士による歯科指導実施 小1、小4、中1、高1に100%

養護教諭による肥満・食育指導実施 10名以上

体力測定の実施 高等部生100%

カ 特別支援教育のセンター的機能

副籍交流の実施 100名以上

直接交流の実施 40名以上

幼児体験教室 6回実施 延べ参加人数50名以上

学校公開 2回実施

地域関係機関相談回数 20回以上

地域関係機関研修回数 15回以上

本人講座実施 3回

ボランティア養成講座実施 4回

キ 学校経営・組織体制

体罰・いじめ撲滅のための研修会の実施 年6回以上

対生徒及び同僚間での呼び捨て暴言の一切禁止

学校評価アンケート保護者回収率 70%以上

サービス事故・個人情報紛失事故目標ゼロ

職員検診受診率 100%